

②学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業がおこなわれている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	33.5%	13.9%	20.8%	17.8%	8.7%
だいたいそう思う	50.1%	46.9%	57.5%	62.2%	69.6%
あまりそう思わない	14.1%	27.7%	20.1%	16.9%	21.7%
そう思わない	2.4%	11.6%	1.6%	3.1%	0.0%

③論理的に考える力を育てることに力を入れている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	32.9%	16.2%	17.2%	17.4%	14.9%
だいたいそう思う	51.8%	54.0%	60.8%	62.8%	51.1%
あまりそう思わない	13.8%	19.5%	21.3%	18.2%	29.8%
そう思わない	1.5%	10.3%	0.6%	1.6%	4.3%

④進路目標の明確化に向けた指導が適切におこなわれている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	34.7%	24.5%	19.4%	27.0%	17.0%
だいたいそう思う	45.3%	46.7%	50.0%	53.5%	53.2%
あまりそう思わない	17.1%	18.2%	27.1%	15.4%	27.7%
そう思わない	2.9%	10.6%	3.5%	4.1%	2.1%

＜学習、進路指導関係＞ 設問項目②③④

学習面では、本校が掲げる「未来学力」の核となる「論理的に考える力」の育成において、昨年度を上回る肯定的評価が得られました。各教科での探究学習や、根拠を持って意見を述べる指導の積み重ねが、生徒の自信に繋がっていると分析します。

進路指導についても肯定的評価は高いものの、「早期からの具体的な大学入試情報の提供」や「学部選びに関する個別相談の充実」を求める声が保護者から寄せられました。進路の多様化が進む中、生徒一人ひとりの適性に寄り添った進路指導が必要と考えます。

学ぶ意欲については、成績上位層だけでなく、すべての生徒が「わかった」を実感できる授業づくりを求める厳しいご指摘も真摯に受け止めます。次年度は、フォローアップ体制を検討し、学力の底上げと学習意欲の向上を両立させて参ります。

①キリスト教精神に基づいた人格教育がおこなわれている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	32.6%	28.4%	27.4%	28.3%	8.7%
だいたいそう思う	52.5%	49.8%	56.5%	57.3%	65.2%
あまりそう思わない	10.9%	14.2%	15.1%	11.9%	26.1%
そう思わない	4.1%	7.6%	0.9%	2.5%	0.0%

⑥必要な時に、教員やカウンセラーが相談に応じてくれる体制ができている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	31.1%	17.1%	27.7%	20.8%	34.0%
だいたいそう思う	45.2%	44.5%	52.9%	58.6%	57.4%
あまりそう思わない	17.0%	24.1%	16.9%	17.0%	8.5%
そう思わない	6.7%	14.4%	2.5%	3.6%	0.0%

⑬いじめや差別を許さない環境づくりに努めている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	29.7%	16.2%	19.7%	16.6%	27.7%
だいたいそう思う	45.7%	44.4%	58.0%	63.0%	55.3%
あまりそう思わない	16.6%	23.2%	15.6%	16.4%	17.0%
そう思わない	8.0%	16.2%	6.7%	4.0%	0.0%

<キリスト教・相談体制等>

設問項目①⑥⑬

キリスト教に基づく人格教育は本校の教育の根幹であり、礼拝や聖書の授業を通じて培われる他者への慈しみが、いじめ防止の基盤と言えます。しかし、自由記述では「SNS上での友人関係の悩み」や「トラブルへの早期介入」を望む声が散見されました。いじめや差別は決して許されないという毅然とした姿勢を堅持しつつ、潜在的な課題を早期に発見できるように、学校生活アンケートの頻度の検討や相談窓口の周知を徹底します。教育相談体制についても、「より気軽に相談できる雰囲気づくり」を求める意見がありました。教職員の傾聴スキル向上を図り、生徒が「自分は守られている」と実感できる安全な居場所としての学校づくりを進めて参ります。

⑤挨拶やマナー、学校生活のルールなどに関する指導が適切におこなわれている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	35.1%	19.9%	22.8%	21.3%	6.3%
だいたいそう思う	44.4%	45.0%	57.3%	60.9%	36.2%
あまりそう思わない	14.0%	20.2%	15.8%	14.8%	34.0%
そう思わない	6.4%	14.9%	4.1%	3.0%	23.4%

⑦部活動は活発におこなわれている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	67.7%	63.2%	56.8%	53.7%	61.7%
だいたいそう思う	27.9%	29.5%	32.2%	37.6%	29.8%
あまりそう思わない	2.9%	4.0%	7.6%	7.7%	8.5%
そう思わない	1.5%	3.3%	3.5%	1.0%	0.0%

⑧生徒会・委員会活動は活発におこなわれている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	45.3%	38.5%	28.7%	22.1%	34.0%
だいたいそう思う	45.9%	42.2%	56.1%	62.6%	42.6%
あまりそう思わない	8.0%	14.3%	14.2%	14.7%	17.0%
そう思わない	0.9%	5.0%	1.0%	1.0%	6.4%

<生徒指導部関係>

設問項目⑤⑦⑧

生活指導については、校則の運用や指導の公平性について、自由記述にて生徒・保護者双方から多様な意見を頂戴しました。昨年度までの傾向を踏まえつつ、時代に即したルールのあり方について、生徒会を通じた対話の機会を設けることも、主体的・民主的な態度の育成に繋がると考えます。

部活動は本校の活力を象徴するものであり、非常に高い活動満足度を示しています。一方で、学業との両立や活動時間の適切性について、ご家庭から注視する声も届いています。勝利至上主義に偏らず、部活動を通じて困難を乗り越える力やチームワークを育むという教育的価値を再確認し、活動の質的向上を目指します。

生徒会活動、委員会活動においても、生徒が自ら学校生活をより良くしようとする自治の力を尊重し、教員はその後援者として適切な助言・指導に努めて参ります。

⑨学校の施設や設備は整備されている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	62.1%	38.1%	52.0%	45.5%	30.4%
だいたいそう思う	30.9%	40.1%	38.9%	39.2%	34.8%
あまりそう思わない	5.9%	12.6%	6.3%	12.0%	32.6%
そう思わない	1.2%	9.3%	2.8%	3.3%	2.2%

⑩生徒に対して、災害・非常時の対処・避難方法が伝えられている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	43.9%	36.2%	36.7%	32.1%	31.9%
だいたいそう思う	49.1%	46.7%	57.0%	58.2%	55.3%
あまりそう思わない	5.6%	10.9%	5.1%	8.1%	10.6%
そう思わない	1.5%	6.3%	1.3%	1.6%	2.1%

⑫生徒の安全や健康管理に積極的に取り組んでいる

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	44.4%	24.3%	33.2%	29.3%	29.8%
だいたいそう思う	44.7%	53.0%	54.5%	58.7%	55.3%
あまりそう思わない	8.2%	12.8%	11.0%	9.4%	10.6%
そう思わない	2.6%	9.9%	1.3%	2.6%	4.3%

<施設・安全管理>

設問項目⑨⑩⑫

施設設備に関しては、「教室の空調管理」「トイレの改修」など、具体的かつ切実な改善要望が寄せられています。特に、夏場の教室のエアコンの不調については、修繕までに日数を要してしまい、たいへんご心配とご迷惑をおかけいたしました。生徒が長時間過ごす教室環境の快適性は、生徒の健康や学習能率に直結する重要課題です。これらは中長期的な営繕計画に基づき、優先順位を明確にして順次対応して参ります。来年度はエアコンの冷温水器の修繕と高層階の廊下の遮熱フィルムの設置を予定しております。

また、通学路の安全確保についても、登下校指導の強化やマナー啓発を継続します。生徒が安全に、かつ心身ともに健やかに過ごせる学習環境の整備を、事務方とも緊密に連携して推進いたします。

⑪学校の情報が適切に伝えられている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	42.5%	20.8%	32.6%	34.9%	23.4%
だいたいそう思う	44.8%	46.2%	53.9%	52.0%	74.5%
あまりそう思わない	10.0%	23.8%	11.9%	10.8%	2.1%
そう思わない	2.7%	9.2%	1.6%	2.4%	0.0%

⑭PC(クロームブック)は適切に活用されている

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	33.7%	27.7%	32.2%	27.5%	0.0%
だいたいそう思う	38.1%	35.6%	54.3%	57.9%	27.7%
あまりそう思わない	16.4%	18.5%	12.0%	12.3%	48.9%
そう思わない	11.7%	18.2%	1.6%	2.4%	23.4%

⑮学校生活は充実している

	中学生徒	高校生徒	中学保護者	高校保護者	教員
そう思う	53.8%	38.0%	46.1%	41.8%	15.2%
だいたいそう思う	39.5%	40.9%	45.5%	48.3%	78.3%
あまりそう思わない	4.1%	11.9%	7.2%	7.3%	6.5%
そう思わない	2.6%	9.2%	1.3%	2.6%	0.0%

<学校生活全般>

設問項目⑪⑭⑮

学校生活の充実度は、昨年度の数値を上回る良好な結果となりました。chromebookの活用については、調べ学習や課題提出の効率化が進んだ一方で、自由記述では「学習以外の利用への懸念」や「教員ごとの活用頻度の差」を指摘する声もありました。ICTはあくまで道具であり、それを使って何を創造するかが重要です。情報モラル教育を今後も継続しつつ、教職員のスキルアップを図り、より創造的な活用場面を増やします。

情報発信については、デジタルツールの導入で伝達の速報性は向上しましたが、「情報の整理」や「早めのスケジュール提示」を求める保護者のニーズに対応し、より分かりやすく、開かれた学校運営を目指します。充実した学校生活が、生徒の誇りと満足感に繋がるよう努力を続けます。

学校評価アンケートへのご回答、そして様々なご意見・ご要望をいただき、ありがとうございました。

回答数は、中学生344、高校生304、中学保護者319、高校保護者513、教員47でした。

集計結果からは、建学の精神の浸透やICT活用に一定の成果が見られた一方、自由記述を通じて「ハラスメント防止の徹底」「教員間の指導力の平準化」「施設環境の計画的改善」という、本校が直視すべき喫緊の課題が改めて浮き彫りとなりました。

皆様から寄せられた切実な声を真摯に受け止め、次年度は教員のさらなる意識改革と授業改善、そして生徒の安全と快適性を最優先した環境整備を強力に推進いたします。

生徒一人ひとりが「大切にされている」という実感の下で、安心して学び、最大限に成長できる学校を目指し、全教職員一丸となって不断の努力を続けて参ります。

なお、昨年度までと同様、生徒の皆さんから頂いたご意見については、年度末に学校長が礼拝後に答える形で対応させていただきます。

またこの内容については、これも昨年度と同様に学校のH.P.でも公開いたします。